



筑波梅林
(つくば市)

編集・発行

社会福祉法人 茨城県社会福祉事業団

茨城県水戸市杉崎町 1460 番地
電話 029-259-9666

E-mail: fukusi-j@atlas.plala.or.jp
http://business2.plala.or.jp/fukusi-j/

- 県立あすなろの郷
- 県立児童センターこどもの城
- あすなろ福祉サポートセンター

理事長挨拶



茨城県社会福祉事業団
理事長 鈴木 健一

暖冬で例年より早く梅の花が満開となった水戸市の偕楽園では、今年で120回目を迎える「水戸の梅まつり」が開催されていて、県内外の観光客などにぎわっています。

さて、当事業団は昨年設立50周年を迎えました。この半世紀で我が国の社会福祉政策は大きな変遷を遂げましたが、当事業団では時代の変化に適切に対応し、利用者の皆様が望むサービスの提供ができるよう努めてきました。

障害者支援施設「県立あすなろの郷」は、平成18年度に指定管理者制度に移行して今年で10年目となります。県の財政的関与の縮減に取り組みながら、民間施設では支援が難しい重度の障害者の専門的支援などの役割を果たしていますが、開所後42年が経過し施設の老朽化や利用者の高齢化・高介護化への対応など課題も生じています。

また、引き続き28年度から3年間の指定管理者となった「県立児童センターこどもの城」

については、恵まれた自然環境の中で各種イベントを開催して利用者を増やし、効率的な運営ができるよう努めていきます。

自主事業である相談支援事業、就労継続支援事業及びグループホーム事業の3事業については、29年度に水戸市内に統合・移転して「福祉サポートセンターあすなろ（仮称）」を開設する予定ですが、円滑に移行できるよう調整を進めていきます。

それから、利用者の皆様が施設や地域の中で安心して快適に、その人らしい生活を送ることができるよう多様で細かいサービスを提供するためには、職員の資質向上が大切です。

このため、当事業団では、コンプライアンス研修や次世代育成研修、先進施設への派遣研修、職務上必要な専門的知識や技術を養うための研修などを実施し、職員の意識改革やスキルアップを図っています。あわせて、利用者支援のための資格取得に対する職場環境の整備を行っています。

当事業団としては、これからも職員一丸となって利用者の皆様や地域の福祉ニーズに適切に対応できるよう取り組んでまいりますので、関係者の皆様の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

平成28年度事業計画

I 事業運営の基本的な考え方

当事業団においては、「第2次中期経営計画（平成26年度から平成30年度）」に基づき、効果的・効率的な経営を推進しているところである。

「本部事務局」においては、引き続き事務の効率化・合理化を進めるほか、次世代を担う職員の計画的な育成を図る。また、平成29年4月開設を予定している「福祉サポートセンター」あすなろ（仮称）については、計画を着実に進めていく。

「茨城県立あすなろの郷」においては、県立施設の指定管理者として引き続き重度障害者のセーフティネットの役割を果たしていくとともに、利用者への人権擁護意識を徹底し、それぞれの個性にふさわしい生活が送れるよう更なるサービスの質の向上を図る。

「茨城県立児童センターこどもの城」については、引き続き平成28年度から3年間の指定管理者となったことから、イベント等を積極的に開催し、利用人数を確保するなど計画に沿った経営が図れるよう取り組んでいく。利用者数を確保するなど計画に沿った経営が図れるよう取り組んでいく。なお、事業運営にあたっては、役職員一人ひとりがコンプライアンスの徹底を図る。

II 事業所別の事業計画

1 本部事務局

(1) 運営方針

本部事務局については、引き続き事務の効率化、合理化を図り適正運営に努めるとともに、職員の資質向上を図るための研修を充実させる。

自主事業については、現在実施している相談支援事業、就労継続支援事業、グループホーム事業の3事業を統合・移転する「福祉サポートセンターあすなろ（仮称）」の平成29年度開設に向け、組織及び運営について事業間の調整を図り円滑に移行できるようにする。

「茨城県立あすなろの郷」及び「茨城県立児童センターこどもの城」については、指定管理者として、基本協定に基づく運営を確実に実行するとともに、より効果的・効率的な事業展開が図れるよう指導する。

また、「第2次中期経営計画」に基づき設置した「事業団経営委員会」において、各事業所における事務事業の進行管理等を行う。

(2) 主な実施事業

ア 指定管理者としての施設の管理運営

(イ)茨城県立あすなろの郷

(ロ)茨城県立児童センターこどもの城

(ハ)経営の効率化・合理化

(ニ)第2次中期経営計画の遂行

(ホ)コンプライアンスの徹底

(3) 自主事業の展開

イ 相談支援事業の実施

ア 就労継続支援B型事業「ひかり」の経営

ウ グループホーム事業「あすなろホーム」の経営

2 茨城県立あすなろの郷

(1) 運営方針

茨城県から指定管理を受けた「茨城県立あすなろの郷」障害者支援施設、病院、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、地域生活支援センターを効果的・効果的に運営し、利用者一人ひとりのニーズを把握した個別支援プログラムに基づき支援サービスの充実を図る。また、地域（在宅）で生活をしている知的障害児・者のニーズに応えるため、短期入所利用枠を4床増床する。さらに、ノーマライゼーションの実現に基づき、利用者の自己決定を尊重した地域での生活を果たすための支援の充実を図る。

【施設の種類と入所定員 502人】

障害者支援施設 462人

医療型障害児入所施設、療養介護事業所 40人

(2) 主な実施事業

ア 障害者支援施設の管理運営

イ 入所待機者、短期入所利用者希望者への対応

ロ 知的障害者の自立促進

ハ 行動障害を持つ方に対する支援の実践と民間施設等への支援

ニ 触法障害者の自立支援に向けた協力と連携

ホ 病院、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、多機能型児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の管理運営

ヘ 利用者の健康管理

ト 重症心身障害児・者の療育

チ 在宅生活支援センターの療育支援

リ 在宅生活支援機能の充実

レ 地域生活移行の推進

ロ 地域生活移行の推進

リ 利用者への地域生活に関するニーズへの対応

ロ 利用者及び保護者への地域生活に対する理解と啓蒙活動

ハ 人材育成

ニ 職員を総合的な資質向上を図るため、業務や職務に応じた階層別研修を実施する。また、強度行動障害者及び高齢者高介護者支援の専門性を高めるため、積極的に外部研修に参加し、その研修内容を伝達することにより職員の資質の向上を図る。

ホ 実習及び研修の受入

ト 福祉の専門職を育成する大学及び専門学校生の実習を受け入れるとともに、茨城県警察学校等の福祉体験研修を積極的に受け入れる。

チ その他

リ 入所者の高齢化等に伴い、利用者個々のニーズに沿った支援のあり方について引き続きワーキンググループ等で検討

(4) その他の事業
ア 社会福祉事業振興資金の運営
イ 岡崎基金研修事業

3 茨城県立児童センターこどもの城

(1) 運営方針

茨城県の拠点的大型児童館として、海岸に隣接した恵まれた自然の中で子どもたちがのびのびと活動しながら共同生活を体験する場を提供するとともに、大洗町など県内市町村、NPO、ボランティア団体、関係機関等と連携しながら充実した運営を行い、児童の健全育成に努める。また、利用者の多様なニーズに対応するため、実施プログラムの充実を図るとともに、これまで培ってきたノウハウや人的資源を活用し、利用者には選ばれる質の高いサービスを提供する。また、こどもの城運営委員会を開催し、外部の意見等を運営に活かすことで、更なるサービスの向上を図る。さらに、県立大型児童館の役割として、茨城県児童館連絡協議会の運営を行い、研修会開催や情報提供などにより県内児童館の活動をサポートし、児童館活動の全体的な充実を図る。

【利用見込人員】

宿泊利用者 10,000人

キャンプ利用者 500人

日帰り利用者 14,500人

計 25,000人

(2) 主な実施イベント

ア 児童が健全な遊びを通して協調性、創造性、忍耐力を高めるイベント

イ ボランティア養成講座（新規）

ロ ちびっこ体験教室innこどもの城（新規）

ハ こどもふれあい広場innこどもの城

ニ キッズサマーキャンプ2016

ホ 家族キャンプ2016

ト 対象1 児童を含む家族（10組40名程度）

チ 対象2 未就学児のいる家族（10組40名程度）（新規）

リ 高めの城秋まつり

ロ クリスマスキヤッス2016

ハ チャレンジ体験innこどもの城

ニ 子育てカフェinnこどもの城

ホ 指導者の育成及び養成のための研修会

ト 放課後子どもプラン開催

チ こどもの城運営委員会の開催

リ 本年度実施するプログラム及びイベント内容の検討や地域との連携等を協議するため、年2回開催する。

ホ 茨城県児童館連絡協議会事務局の運営

ト 総会・役員会の開催、一般財団法人児童健全育成推進財団との連携による年4回の児童館等職員研修会の開催、機関誌「ひまわり」の発行等を行う。

事業所紹介

茨城県社会福祉事業団

◎次世代職員育成研修

ベテラン職員の大量退職を控え、次世代を担う職員の育成が急務となつています。平成27年度は係長級職員を対象に、リーダーシップやマネジメント能力の習得を目指した次世代育成研修を実施しました。受講者は皆真剣に取り組んでいました。



◎コンプライアンス研修

副寮長級以上の職員を対象としたコンプライアンス研修を実施し、セクシャルハラスメントとパワーハラスメントについて理解を深めました。適切なコミュニケーションをとり、人間関係を良好に保つことが重要であると再認識できました。



茨城県立あすなろの郷

(障害者支援施設及び医療型障害児入所施設・療養介護事業所)

◎あすなろの郷ABA勉強会及び講師派遣

職員の資質向上及び支援の専門性を高めるため、「応用行動分析」を内容とした、あすなろの郷ABA勉強会を年間10回開催しております。また、専門的知識を有する職員の講師派遣や、施設訪問などによる支援技術の普及にも努めています。



◎高介護利用者支援勉強会

茨城県介護福祉士会から講師を派遣していただき勉強会を行いました。勉強会内容は、講義形式5回、実技形式3回です。利用者の高齢化に伴い、介護技術習得の必要性が高まっております。参加者は現場を想定しながら熱心に学んでいました。



あすなろ福祉サポートセンター

(就労継続支援B型事業所「ひかり」)

◎取り組み

珠味の箱詰めや段ボールの組み立て等、室内作業を主に行っていますが、環境整備や清掃業務等、施設外での仕事も積極的に取り組んでいます。



◎レクリエーション活動

5月は霞ヶ浦で水陸両用バス遊覧、11月には宇都宮で木下大サーカスを観覧しました。小人数での外出や、毎月1回、所内でレク活動も行っています。



茨城県立児童センター「ごどもの城」

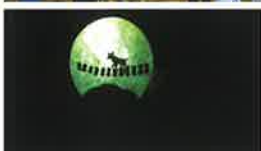
(児童厚生施設 B型児童館)

◎高校生歌遊び講座

5月30日から一泊研修で、高校生歌遊び講座を実施しました。あそびうた研究会の講師をお迎えして、県内の高校生会を対象に、高校生リーダーとしての意識向上や地域支援活動等に役立つ実践的な講座です。歌あそびを中心に、身体全体を使っての遊びや、牛乳パック



を利用した楽器制作等の活動を行いました。最後には自分たちが作詞した曲を手作りの楽器で演奏し、高校生らしいエネルギー溢れた歌声と音色に充実感を共有できました。



◎インフォメーション

遊びに！研修に！宿泊に！

児童が健全な遊びを通して協調性、創造性、忍耐力を養うため、多くのイベントを実施しています。通常開館の利用料金も大変リーズナブル。県内外問わず、どなたでもご利用いただけます。幼稚園や保育園、学校関係、子ども会やスポーツ関係等の団体の宿泊学習や研修など、様々な活用のご利用頂きます。お問合せの上、是非、こどもの城をご活用ください。

こどもの城年間スケジュール

イベント	実施時期	対象
こどもふれあい広場	5月3日～5日	家族等自由参加(入場無料)
キッズサマーキャンプ2016	7月予定	小学4～6年生
家族キャンプ2016(2回)	8月予定	未就学児・小学生とその家族
農民の日&こどもの城まつり	11月12日～13日	家族等自由参加(入場無料)
クリスマスキャッスル2016	12月10日～11日	家族等自由参加(入場無料)
チャレンジ体験(宿泊イベント)	冬頃予定	小学4～6年生
子育てカフェinこどもの城	毎年	未就学児とその家族
ちびっこ体験教室	毎年	未就学児～低学年とその家族
ボランティア養成講座	年3回	県内高校生及び学生
放課後子ども総合プラン研修会	1～3月予定	放課後児童指導員等

《ご利用案内》

- 休館日：毎週月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合、翌火曜日。7/1～8/31を除く)
- 利用時間：9:00～17:00(最終入場16:00)
- 収容人数：宿泊棟150名、キャンプ場50名(夏休み期間のみ)

利用料金	日帰り料金	宿泊
小・中学生	30円	190円
高校生	70円	360円
保護者・引率者	190円	880円
一般	250円	1,150円

食料料金	朝食	昼食	夕食
子どもの団体	330円	430円	640円
大人食	380円	480円	1,400円

※追加料理、おやつ、飲み物の注文もお受けします。



- 自家用車 東水戸道路 水戸大洗LC→国道51号(大洗方面)→大洗ゴルフとなり
- 茨城交通バス (大洗水族館行または那珂湊行) 水戸駅→大洗海岸(徒歩1分) 大洗駅→大洗海岸(徒歩1分)
- 大洗海遊号(町営バス) 大洗駅→観光情報センター前(徒歩3分)

大洗こどもの城 検索 詳しくはHPがお電話で

TEL.029-266-3044 FAX029-266-3045
〒311-1301 大洗町磯浜町8249-4



岡崎基金派遣研修

岡崎基金派遣研修は、茨城県立コロニーあすなろの初代病院長であった岡崎藤麿先生の御寄付により、職員が視野を広め資質の向上を図ることを目的として、昭和54年に始まりました。平成27年度は、先進施設の運営、処遇技術等を学ぶため、6名の職員を派遣しました。お世話になりました施設の皆様には心よりお礼申し上げます。

高齢知的障害者への支援

研修先 社会福祉法人侑愛会 侑愛荘

研修先 ume寮東ファミリリー 主任 西牧 秀二
11月末から12月初旬にかけて、北海道北斗市の侑愛荘に高齢期の知的障害者の日中活動を勉強するために行かせていただきました。研修先の方々にも丁寧に対応していただき、充実した5日間となりました。侑愛荘の利用者様の障害支援区分は平均54で、あすなろの郷の56より少し低いだけで、実際に日中活動に参加してみると両施設の利用者様の能力に極端な違いは感じず、これから提供していく日中活動を考えるにあたって有用な事例を見ることができました。また、侑愛荘は施設老朽化や利用者様の変化に対応するために増改築を行ってきた施設であり、既存寮の改築を行う場合に参考になる事例だと思います。

この研修で学んだことを今後の利用者様への支援に活かせるように努めて行きたいと思えます。

超重症心身障害児者への支援

研修先 社会福祉法人愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター
ばら寮 専門員 荒井 宏子
今回、私は利用者様のサービスの充実、向上を図るためには、どのように日常生活がプログラムされ、看護と療育はどのように連携しているのか学びたいと思い研修に行かせて頂きました。

研修先の施設は、部門ごとに十分な人員配置で役割分担がされ各自が業務に責任と誇りを持って支援にあたることが利用者様のサービス向上につながっているのではないかと強く感じました。特に療育を担当する支援員の専門的な知識とプロ意識の高さには驚きました。そして、他職種がそれぞれの専門性を生かして円滑な連携を図りスタッフ一丸となることで、1人1人の利用者様が充実した日常生活が送れると改めて感じました。ばら寮においても、利用者様の生活の質が向上できるようにスタッフ一丸となり支援していきたいと思えます。

自閉症および強度行動障害者への支援

研修先 社会福祉法人島根県社会福祉事業団

研修先 つばき寮西ファミリリー 主任 山戸 茂廣
12月14日から4日間、島根県光風園で研修させていただきました。光風園は利用者84名とあすなろの郷に比べて小規模でしたが、強度行動障害者が前入所施設や出身地域の施設へ移行するための特別支援を実施していました。私はそのような制度や取り組みがあることを知らなかったため、大変感銘を受けました。支援はプログラム化されて、全支援者が統一されたサービスを提供していました。支援者一人一人も自閉症や障害についての理解を深めてゆとりを持ち、利用者様の長所を伸ばせる支援をしていきたいと思います。

研修先 社会福祉法人あいのかわ福祉会
あざみ寮西ファミリリー 専門員 杉山 路子
平成27年12月1日から5日間、栃木県の大田原市にある「社会福祉法人 あいのかわ福祉会 那須共育学園」で研修を受けさせて頂きました。

那須共育学園では「楽しく生きること」をモットーに利用者様が安心して、リラクセスして暮らせる環境作りや行事等の「楽しみ」を充実させることに力を入れていました。「環境作り」に关しては呼称や話し方に関してもアセスメントを行い、利用者様が家庭にいる時と同じように会話できるような配慮する等を行っていました。「行事」に関しては週に一度は「小旅行」を行っており、これが利用者様の活動のモチベーションになっていました。

今回研修を受けさせて頂き、利用者様への支援について改めて考え直す機会を得ました。今後の支援に生かしていきたいと思えます。

利用者の情緒安定に向けた支援

研修先 社会福祉法人はるにれの里

札幌市自閉症者自立支援センターゆい
地域生活支援センター 支援員 櫻村 清史
12月14日から12月17日にかけて北海道札幌市にある「札幌市自閉症者自立支援センターゆい」に自閉症者が安心して生活できる環境の作り方、支援技術を学びに行かせていただきました。

ゆいでは3年間の有期限で、行動障害を有する自閉症者にとつての生きにくさとなる様々なバリアを取り除き、地域のグループホームで自立した生活を目指しています。またTEACCHプログラムを活用し、問題行動を無くすのではなく、問題行動が起きないように周囲の環境を作るといった考えの基で支援を行っていました。

ゆいの構造化された生活環境は刺激が少なく、利用者様が安心した生活を送っており、利用者様の環境作りの参考になりました。今回の研修で学んだ事をあすなろの郷での業務に活かしていきたいと思えます。

罪を犯した障害者への支援

研修先 社会福祉法人紫野の会 かりいほ

研修先 さくら寮東ファミリリー 主任 高野 浩樹
この度平成27年11月に、栃木県大田原市にある障害者支援施設かりいほへ研修に行つてまいりました。かりいほでは、施設のルールに沿って生活することが難しい利用者様を多く受け入れています。そういった方々への支援の仕方は、日課に沿って行動できなければ無理強いをせず、本人がその気になるまで根気強く待つといった意思決定に重きを置いていました。それはこれまでの「集団」という概念から「個」での取り組みを強く意識したものでした。一人の利用者様に最低2人という人員配置、徹底的に利用者様と付き合ひ、関係を深める支援の仕方のため根気強さが求められます。大事なものは私たち支援者側の覚悟なのだと思いました。今回の研修で学んだことを活かし利用者様にとつて毎日が楽しく笑顔でいられるよう精進してまいりたいと思えます。

在宅障害児者への療育支援

研修先 社会福祉法人はるにれの里

札幌市自閉症者自立支援センターゆい
地域生活支援センター 支援員 櫻村 清史
12月14日から12月17日にかけて北海道札幌市にある「札幌市自閉症者自立支援センターゆい」に自閉症者が安心して生活できる環境の作り方、支援技術を学びに行かせていただきました。

ゆいでは3年間の有期限で、行動障害を有する自閉症者にとつての生きにくさとなる様々なバリアを取り除き、地域のグループホームで自立した生活を目指しています。またTEACCHプログラムを活用し、問題行動を無くすのではなく、問題行動が起きないように周囲の環境を作るといった考えの基で支援を行っていました。

ゆいの構造化された生活環境は刺激が少なく、利用者様が安心した生活を送っており、利用者様の環境作りの参考になりました。今回の研修で学んだ事をあすなろの郷での業務に活かしていきたいと思えます。

事業団 ニュース

常総市災害ボランティアについて

9月10日の関東・東北豪雨により鬼怒川の堤防が決壊し、常総市は大規模な水害に見舞われました。我々も何か協力したいとの想いから、事業団有志ボランティア活動をしました。9月28日、10月31日と2日間、家財搬出、床下の泥出し等、精一杯お手伝いをさせていただきました。1日目は事業



団有志チームで、2日目は一般参加のボランティアの方たちと一緒に、合計15人のチーム活動となりました。依頼主様からお礼の言葉をいただき、少しでもお役に立てて良かったです。被災された方々の生活が1日も早く復旧されることを願っております。



平成27年度(第38回)実践報告・実務研究論文入賞について

全国社会福祉事業団協議会主催の実践報告・実務研究論文において、佳作を受賞しました。

茨城県立あすなろの郷 ゆり寮東ファミリ―

主任 照沼 裕也

テーマ「口腔機能の向上を目指して、胃ろう造設の前に支援員ができること」

高齢・高介護棟であるゆり寮東ファミリ―の利用者様が本来持っている口の力を引き出し、できる限り自分の口から食べていただくために、支援員としてできることについて、口腔ケアを中心とした支援技術の観点から考察を行いました。



職員表彰

多年にわたり社会福祉の発展に尽力するなどの功績により、当事業団職員が表彰を受けましたので、紹介させていただきます。

茨城県社会福祉事業団永年勤続表彰

- さくら寮西ファミリ― 副寮長 柳 橋 恵子
- さつき寮東ファミリ― 副寮長 南 村 正敏
- ぼたん寮東ファミリ― 専任員 仲 村 ひろみ
- ぼたん寮西ファミリ― 専任員 江 幡 いつみ

茨城県知事表彰

- 管理部長 生 天 目 拓 夫
- あざみ寮東ファミリ― 専任員 會 澤 光 孝
- 管理課栄養室 主任調理員 大 島 一 典
- ゆり寮東ファミリ― 副寮長 相 田 美 樹 男

茨城県社会福祉協議会長表彰

- こどもの城 所 長 中 山 香 織
- あざみ寮西ファミリ― 副寮長 川 村 純 子
- あざみ寮東ファミリ― 副寮長 佐 藤 祐 一
- はぎ寮西ファミリ― 副寮長 村 上 康 子
- うめ寮西ファミリ― 副寮長 館 岡 薫
- つばき寮東ファミリ― 副寮長 安 蔵 康 行
- つばき寮西ファミリ― 副寮長 石 橋 英 昭
- 庶務課 係 長 川 澄 裕 朗
- 庶務課 係 長 小 松 ひとみ
- 地域生活支援センター 専任員 角 田 博 文

全国社会福祉事業団協議会永年勤続者表彰

- ふじ寮西ファミリ― 副寮長 富 山 友 子
- あやめ寮東ファミリ― 副寮長 一 家 卓 也
- 地域生活支援センター 専任員 角 田 博 文
- ゆり寮東ファミリ― 専任員 関 根 智 美
- うめ寮西ファミリ― 主任 小 嶋 有 紀



資格試験合格(介護福祉士)

平成27年に資格試験に合格した職員を紹介いたします。より質の高い支援が提供されることを期待しています。

- はぎ寮東ファミリ― 支援員 大 槻 浩 之
- うめ寮西ファミリ― 支援員 植 田 友 乃
- あやめ寮東ファミリ― 支援員 木 村 光 宏
- あやめ寮西ファミリ― 支援員 杉 山 雅 人
- つばき寮東ファミリ― 支援員 立 原 雅 人
- つばき寮西ファミリ― 常勤嘱託 高 根 沢 智 義
- さくら寮西ファミリ― 支援員 小 松 崎 直 輝
- ゆり寮東ファミリ― 支援員 市 川 智 子
- ゆり寮西ファミリ― 支援員 笹 島 裕 美
- あおい寮西ファミリ― 支援員 高 橋 秀 和
- あおい寮東ファミリ― 常勤嘱託 佐 々 木 知 子
- あざみ寮東ファミリ― 主任 大 関 由 佳
- 活動支援課 支援員 稲 川 圭 一
- 地域生活支援センター 専任員 岡 野 瑠 璃 子
- 支援員 角 田 博 文

平成27年度苦情受け付け状況

平成28年3月1日現在

苦情内容	事業所名	受付件数	申請人			苦情種別			受付状況					
			利用者	家族	その他	支援・援助	個人嗜好	施設整備	受付対応	その他	口頭	文書	電話	
	本部	1				1	1							
	あすなろの郷	1				1	1							1
	こどもの城													
	計	2				2	2						1	1

平成27年度に当事業団に寄せられた苦情については上記のとおりです。各事業所に苦情解決責任者、苦情受付責任者、また本部事務局に第三者委員を置き、苦情解決に取り組んでおります。今後とも利用者様の苦情や不満を汲み取り、適切な解決に努めるとともに、利用者様の満足度をさらに高めるための福祉サービスを目指してまいります。

新規採用職員

当事業団に新規採用された職員を紹介致します。これからどうぞよろしくお願ひ致します。



①活動支援課 支援員 高畑 賢人

- ②何事も意欲的に取り組むことです。
- ③レコード収集です。
- ④資格を取得すること。



①はぎ寮東 ファミリー 支援員 大槻 浩之

- ①自分に厳しいこと。
- ②相手に優しく、一人旅・ロマンがありま
- ③公では資格取得、私ではお嫁さん取得です。



①はぎ寮西 ファミリー 支援員 野中 良美

- ①所属・職種・氏名
- ②アピールポイント (誰にも負けないと自負する自分の強み)
- ③マイブーム
- ④チャレンジ宣言(仕事・プライベート問わず)



①つづき寮西 ファミリー 支援員 八尾 あゆみ

- ①柔軟な対応力に自信があまりあります。
- ②造成作業。
- ③造成作業で山を切り開きま
- ④造成作業で山を切り開きま



①あやめ寮東 ファミリー 支援員 木村 光宏

- ①管理課 栄養室 朝比奈 佳代
- ②何事にも諦めず、最後までやり遂げることをやります。
- ③昨年からは始めたスノーボードにはまっています。
- ④今後は、自分の課題をみつけて目標を立て、自分のレベルを向上していきたいです。



①あやめ寮西 ファミリー 支援員 鈴木 智久

- ①活動支援課 支援員 清水 一樹
- ②何事にもこだわり全力で取り組みます。
- ③ゴルフ始めました。目下猛練習中です。
- ④支援能力向上のため、国家資格を取ります。



①あやめ寮西 ファミリー 支援員 岡部 圭

- ①好きな事に対してのひたむきな姿勢。
- ②バスケット・ゲーム・漫画・アニメ。
- ③基礎体力向上・バスケット技術向上に努めます。



①さつき寮東 ファミリー 職 支援員 青木 良介

- ①しっかりと人の話を聞けること。
- ②フットサルです。
- ③介護職員初任者研修にチャレンジしたいと思います。



①さつき寮西 ファミリー 支援員 川村 直人

- ①所属・職種・氏名
- ②アピールポイント (誰にも負けないと自負する自分の強み)
- ③マイブーム
- ④チャレンジ宣言(仕事・プライベート問わず)



①つづき寮西 ファミリー 支援員 細谷 幹太郎

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①つづき寮西 ファミリー 支援員 小松崎 直輝

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①さくら寮東 ファミリー 支援員 島田 裕司

- ①あやめ寮東 ファミリー 支援員 野内 聡司
- ②柔軟な考えで物事に取り組みます。
- ③音楽フェスに行くこと!
- ④笑顔を絶やさず支援に取り組みます。



①ぼたん寮東 ファミリー 支援員 益子 康典

- ①何事も最後までやり遂げます。
- ②体を動かすこと。
- ③公私ともに様々な事に挑戦して行きたいです。



①ぼたん寮西 ファミリー 支援員 大内 理恵子

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①ゆり寮東 ファミリー 支援員 川村 俊貴

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①つづき寮西 ファミリー 支援員 細谷 幹太郎

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①ふじ寮東 ファミリー 支援員 小松崎 貴也

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①あおい寮東 ファミリー 支援員 海老根 幸希

- ①あおい寮東 ファミリー 支援員 海老根 幸希
- ②趣味の筋力トレーニングの成果で利用者様を安定して支えることが出来る。
- ③探偵小説・筋力トレーニング。
- ④利用者様に安全な生活を送っていただく。10冊の未読本を読む。



①あおい寮東 ファミリー 支援員 関 駿

- ①あおい寮東 ファミリー 支援員 関 駿
- ②真面目な性格と周囲を見て判断し行動する。
- ③筋肉トレーニング、ジョギング、音楽鑑賞。
- ④資格取得を目指す。体力をつける。



①医療局 看護師 鈴木 幸子

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①はら寮 支援員 飛田 佳紀

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①はら寮 看護師 寺門 健太

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①はら寮 看護師 田崎 洋平

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。



①地域生活 移行推進室 支援員 野内 聡司

- ①ゆるい寮西 ファミリー 支援員 管浪 翔太
- ②明るい性格。
- ③スーフ春雨。
- ④今後資格取得に励みたいです。